



第2期（令和4年5月6日～6月30日）

社会福祉法人 種の会 だいな幼稚園
〒651-0064
神戸市中央区大日通1丁目1-1
tel:078-252-3810
fax:078-252-3820
mail:daina@tanenokai.jp



楽しく、安全に、たくさん、あそぼ！

園長 溝上 宏子

風薫る、過ごしやすい季節となりました。王子南公園側の園舎の壁に、気持ち良さそうにこいのぼりが泳ぐ姿を子ども達は元気に遊びながら眺めている今日この頃です。新型コロナウイルスにも何だか慣れてきてしまった雰囲気は社会全般には流れているものの、形を変え、感染力を増してくるコロナウィルスに、コロナ禍はまだまだ続いていくようです。

4月より入園した子ども達も園生活に少しずつ慣れてきています。先生や友達の名前も覚え、「**先生、おはよう。」「**君、一緒にあそぼう。」「**先生、また明日ね。さようなら。」と話しかける姿が見られます。毎週火曜日には、グループで王子動物園に行き、発見したことや面白い！と思ったことを発表しています。各グループ、マドンナ前の壁にドキュメンテーションを掲示していますのでご覧になって頂き、お子さんとの、またご家族での話題にしてみてくださいね。また、毎週水曜日は体育あそびの日です。今年度から3回はサーキット、1回はチアダンスとなっています。クラス毎に4月に初めてのチアダンスを経験した子ども達は背筋をピン！と伸ばし、ポンポンを持って飛び跳ねながら、体を弾ませています。「笑顔！」「元気！」「仲間！」を合言葉に弾けて楽しむ姿が見られます。

<安全委員会、安全な遊び方の普及に大奮闘！>

昨年より発足し、有志の年長児5名が運営している安全委員会。現在の活動内容は、王子南公園であそぶ際に気を付けた方がいいことを実際に公園に行き遊具を検証し、写真に撮り、伝えたいことを考えて文章化。各グループを回って写真を見せながら、伝えるという活動をしています。項目は9項目あり、全グループに全内容をきちんと伝えるため表まで作成しています。メンバーの子ども達は毎日、とても意欲的で毎日のように話し合いを重ねています。先日は「あぶないことは、たのしいな！？」という歌まで作ってしまいました。歌詞をご紹介しますね。

『 あぶないことはたのしいな あぶないことはおもしろい
けど いけない いけません あぶないことはいけません
なんでダメなの？ どうなるの？
あたまを うったら われるかもしれないよ
うえから おちたら ほねおるかもよ
ちが いっぱいでるかもよ つまり いたってことだよ
けど あぶないことはたのしいな あぶないことはおもしろい
けど いけない いけません あぶないことは ♪♪ いけません 』

安全委員会の仕事は、これからもまだまだ続くことでしょう。戸外あそびがとっても気持ちのいい季節。子ども達には楽しく、安全にたくさんあそんでほしいなと思います。



コロナ禍の保育

山下 章乃

だいな幼稚園は令和2年4月に開園しましたが、ちょうどその頃から、日本で新型コロナウイルスの感染が広がり始めました。入園式は対面開催したものの、4月の中旬には緊急事態宣言が発表され登園自粛期間へ突入しました。得体の知れないウィルスの広がり、家庭や保育現場の緊張や不安はとても大きいものでした。

コロナ対策の基本は3蜜（密閉・密集・密接）の回避ですが、保育施設において完全回避は不可能です。保育には「アタッチメント」という言葉があり（心理学用語で「愛着」を意味します）、子どもが不安を感じた時に保育者が傍にいて優しいまなざしを送ること、子どもの体をさすってあげたり抱きしてあげたりすることで、子どもは安心して自分の居場所を見つけ、保育者と信頼関係を築いていきます。また、子ども集団でも、1日の生活を共に過ごし、色んな友達と関わり合うことで、興味や学びを深めていくことが子どもの育ちに大切です。

私たち保育者は、「コロナ対策」と「子どもにとって」の狭間で常に葛藤してきました。緊急事態宣言中は登園自粛に協力してくださっているご家庭がある中で、どこまで活動をするべきか（家庭保育に協力してくださっているご家庭への配慮として特別な活動は控えるべきだが、登園している子ども達のあそびも大切にしたい）、育児休業中のご家庭の登園受け入れ（神戸市から「家庭保育が可能なご家庭は協力を」の通知が繰り返し出され、育児休業中の家庭が受けるプレッシャー、幼児の年齢で集団に入れない苦しさはとても大きいものでした）、コロナ禍での行事開催（子ども達にとってお家の方に見ていただく機会は大切なもので何とか機会を持ちたいが、運動会や発表会開催での3蜜完全回避は不可能）、子どものマスク着用（園では子ども達にも、コロナ禍の生活習慣の一環としてマスク着用を呼びかけているが、園外保育や粗大運動時、食事、午睡時はマスクを付け外しており、年齢的にも着用の徹底は難しい。夏季は熱中症への配慮も必要。）など、様々な立場や状況に思いを巡らせたり、実際にご意見を聞かせていただいたりする中で、私たちの葛藤は尽きません。

続くコロナ禍で気づいたこともありました。1つ目は、「保育現場の ICT 化」です。姉妹園や学生とのオンライン交流会、保護者の方への動画配信、チャイルドケアウェブシステムの導入、職員会議や研修のオンライン開催など、コミュニケーションの選択肢の1つとして保育現場にすっかり浸透しました。2つ目は、「子どもの生活とあそびを保障する大切さ」です。コロナ化だからこれもできない、あれもできないと、子どもの生活やあそびそのものを排除するのではなく、そのやり方（場所、グループ、時間を分ける）を工夫することで、子ども達が生活とあそびを思いきり楽しめる保育をしていきたいと思っています。子ども達が様々なことを感じて、自ら意欲的にチャレンジする心（心情・意欲・態度の育成）を大切にしたいと思います。子ども達は社会（大人）の緊張を敏感に感じ取っています。コロナ禍だからこそ、子ども達が安心でき、愛されると実感できる言葉がけや関わりを心がけていきたいと思っています。

今後も、工夫と対話を重ねながらコロナ禍の保育を考えていきます。



行事食における意義

松村 崇司

動物園プロジェクトから子どもの姿やグループのことを紹介したり、体育あそび～サーキット活動～から子どもの姿を紹介したりしていましたが、今期よりいろいろなテーマに沿った想いや願い、活動のことなどを書いていきます。

テーマにある「行事食」と聞いて皆さんはどのようなことを思い浮かべますか？おせち・ちらしずし（ひなまつり）・かしわもち・土用丑の日・十五夜（お月見）など細かく言えばもっとありますが、ざっと一年の中でもこれだけあります。おそらくどこかで1度は口にしたり、目にしたりされたことがあるのではないのでしょうか。

開園から3年を迎えるだいな幼稚園、実は園内でもこの「行事食」について、さまざまな議論が繰り広げられてきました。その内容は、「行事食は家でも食べるので、園で行事当日に行事食を提供すると、家庭とメニューが重なってしまう。家庭を主体に考えるならば、園では行事当日とは日にちをずらして行事食を提供してはどうか。」、それとは反対に「いやいや、行事食とはその日に提供したりその日に食べるから価値があるんだ。それを食育と呼ばないで、わざわざ違う日にずらしてまで提供する必要性や意義は?」。意見は分かれ、真っ向から対立します。ちなみに後者の意見は私です。いろいろな議論が行なわれ、一度は前者の方で決議され、実践しました。しかし、栄養士による食育の場面で「この行事で〇〇を食べるのは、こんな意味があるからなんだよ。本当の行事は〇日後なんだけどね。」などと、補足をしながらの行事食紹介や子どもとの会話の中に、自分の中でどこか心の底にある澁みのようなものが段々と溢れてきました。そこでもう一度会議にて議題にあげました。職員からするとだいぶ“ウザい”ですよね。もう一度同じテーマで議論するのですから。そこでいろいろな議論が繰り広げられた結果、先述後者の“行事食は当日に提供するから価値がある”というところを職員とともに共通理解し、再決議されたのでした。

前期の自己紹介でも紹介したように、こう見えて私は調理師免許を保持しており、学校こそ出ていませんが経験はあります。子ども達に対しての想いもあります。願いももっています。でもそれは、保護者の方も同じではないかと思えます。私も一人の人間として、人の親として、子ども達に関わる食のことですから、子ども達にもそうですし、保護者の方にも“だいな食事っていいよね”って思ってもらえるように、想い・願いが届いてくれたらいいなと思っています。職員間で議論を重ね、最大限できることに力を注ぎ、みんなで日々“いいモノ”を生み出そうとしています。キッチンひだまりの職員はじめ園の職員は私のウザい部分もすべて承知してくれていると思います。私の心の奥底にあるものは「食べることは生きること」ということです。数々の子ども達と出会い、食育を通じて食の大切さを伝えたり身近に感じてもらったりしてきました。それはこれからも同じですし、私から、園からどんどん伝えていきたいと思っています。



だいな窓から



新年度が始まり 1 ヶ月が経ちました。にじ組の子ども達も、だいな幼稚園での生活に少しずつ慣れてきましたが、登園時保護者さんに行ってらっしゃいをするときは、寂しくて「ママがいいー！」と泣いている姿が見られます。

そんな時、にじ組担任の伊藤 結は「〇〇ちゃんはママがいいっ♪△△くんもママがいいっ♪」と自作の歌をうたっています。子どもたちの気持ちを否定せず、楽しい気分にさせてくれる歌で、子どもたちは気持ちの切り替えがしやすいようです。

保護者の皆さんも、朝は心配な気持ちで出勤されるかと思いますが、今後も一緒に成長を見守っていきたいと思います。

事務員 揚村 麻菜美

“Instagram（インスタグラム）だいな幼稚園公式アカウントをはじめました！”

園の様子や地域の方へのお知らせを投稿していく予定です。「だいな幼稚園ってこんなところなんだ！」「行ってみたいな～」と思ってもらえるように更新していきます。QRコードより、保護者のみなさまも是非ご覧くださいませ。また、姉妹園や法人本部もInstagramをしていますので、ちらっとのぞいてみてくださいね。

アカウント名：@daina_yojien



DAINA_YOJIEN

保育士 兼 法人広報 中村 聖子

お知らせ

◎保護者会について（※日程変更しました）

5月21日（土）9時30分～11時30分に保護者会を行ないます。先日、参加調査を足らせていただきましたが、各ご家庭から保護者の方1名ずつのご参加をお願いします。当日は、コロナ対策を実施しながら対面開催とさせていただきます。よろしくお願いします。

◎つばさ・そら組保育参加について

今年度はコロナ対策の為、クラス別に保育参加の期間を分けて実施します。

つばさ組…6月1日(水)～6月16日(木)

そら組…6月17日(金)～6月30日(木)

期間中の平日に、各ご家庭から保護者の方2名までご参加いただけます。

後日、参加希望日の調査をとらせていただきますので、よろしくお願いいたします。

◎水あそびについて

6月16日(木)～水あそび・泥んこあそびをはじめますので、それまでに、ご家庭からプールバッグ・ケープタオル・ビーチサンダルをご用意ください。ビーチサンダルは、いつでも使用できるように、夏の間、園の下駄箱に常時置いておいてください。

◎水筒のお茶について

毎日ご用意いただいている水筒のお茶は一日を通して飲用します。これから気温が上昇しますので、新鮮なお茶を水筒に入れていただきますようお願いいたします。

◎服装について

子ども達の園での服装は、年間を通して、半袖 T シャツ+気候に応じて上から長袖の着用をお願いします。日中は気温が上昇し、子ども達は活発に体を動かしてよく汗をかいています。子どもが自分で衣服調整ができますように、よろしくお願いします。また、女の子はスカートやチュニックは避け、ズボンで登園していただきますようお願いいたします。

◎すべての持ち物に記名してください

記名のないマスクは、衛生上お返しできず処分となることがあります。マスク、紙パンツ、衣類など、全ての持ち物に記名をお願いいたします。健康調査票横に落とし物BOXがありますので、ご家庭のものがないか定期的にご確認ください。

◎第3期の主な行事（7月1日(金)～8月6日(土)）

- ・7月1日(金)～8月2日(火) プールあそび
- ・7月7日(木)…七夕会
- ・7月21日(木)誕生会
- ・7月26日(火)弁当日
- ・8月4日(木)・5日(金)…だいな・なのは・はらだ3園合同お祭りごっこ

活動・行事カレンダー

令和4年度 第2期 5月6日(金)～6月30日(木)

月	日	曜	全体	にじ組の活動	そら組の活動	つばさ組の活動
5月	6	金	お弁当日	コーナーゾーン	コーナーゾーン	コーナーゾーン
	9	月		植栽	ふれあい遊び/王子南公園	英語で遊ぼう/植栽
	10	火		動物園プロジェクト	動物園プロジェクト	動物園プロジェクト
	11	水		体育あそび(サーキット)	体育あそび(サーキット)/英語で遊ぼう	体育あそび(サーキット)/ミニキーボード
	12	木	課外英語教室	絵画(クレパス)	制作(水あそび用おもちゃ)	英語で遊ぼう/植栽
	13	金		コーナーゾーン	コーナーゾーン	コーナーゾーン
	16	月		新聞あそび	王子南公園	英語で遊ぼう/ふれあい遊び
	17	火		動物園プロジェクト	動物園プロジェクト	動物園プロジェクト
	18	水		体育あそび(チャダンス)/はさみ	体育あそび(チャダンス)/英語で遊ぼう	体育あそび(チャダンス)/歯磨き指導
	19	木	お誕生会/英語課外教室	誕生会/王子南公園	誕生会/王子南公園	誕生会
	20	金	避難訓練	コーナーゾーン	コーナーゾーン	コーナーゾーン
	21	土	保護者会			
	23	月	成長測定①	花の種まき/王子南公園	花の種まき/王子南公園	英語で遊ぼう 制作(水あそび用おもちゃ)
	24	火	成長測定②	動物園プロジェクト	動物園プロジェクト	動物園プロジェクト
	25	水		体育あそび(サーキット)/はさみ	体育あそび(サーキット)/歯磨き指導	体育あそび(サーキット) 制作(水あそび用おもちゃ)
	26	木	課外英語教室	宮本公園(つばさ組と)	制作(レインコート)	宮本公園(にじ組と)
	27	金		コーナーゾーン	コーナーゾーン	コーナーゾーン
	30	月		リトミック(グループで)	リトミック(グループで)	リトミック(グループで)
	31	火		動物園プロジェクト	動物園プロジェクト	動物園プロジェクト
6月	1	水		体育あそび(チャダンス)	体育あそび(チャダンス)/英語で遊ぼう	保育参加期間(~6/16まで) 体育あそび(チャダンス)/ミニキーボード
	2	木	課外英語教室	絵の具	クッキング(春野菜スープ)	英語で遊ぼう/ふれあいあそび
	3	金		コーナーゾーン	コーナーゾーン	コーナーゾーン
	6	月		宮本公園	宮本公園	英語で遊ぼう/しゃぼん玉
	7	火		動物園プロジェクト	動物園プロジェクト	動物園プロジェクト
	8	水		体育あそび(サーキット)	体育あそび(サーキット) 英語で遊ぼう/楽器あそび	体育あそび(サーキット)/ミニキーボード
	9	木	課外英語教室	楽器あそび	感触遊び(スライム)	英語で遊ぼう 制作(水あそび用おもちゃ)
	10	金	避難訓練	コーナーゾーン	コーナーゾーン	コーナーゾーン
	13	月		感触あそび	岩屋公園	英語で遊ぼう/しゃぼん玉
	14	火		動物園プロジェクト	動物園プロジェクト	動物園プロジェクト
	15	水		体育あそび(サーキット)/楽器あそび	体育あそび(サーキット)/英語で遊ぼう	体育あそび(サーキット)/ミニキーボード
	16	木	課外英語教室	水あそび	水あそび	水あそび
	17	金		コーナーゾーン	保育参加期間(~6/30まで) コーナーゾーン	コーナーゾーン
	20	月		水あそび(王子南公園)	水あそび(王子南公園)	水あそび(王子南公園)
	21	火	お弁当日	動物園プロジェクト	動物園プロジェクト	動物園プロジェクト
	22	水		体育あそび(サーキット)/七夕制作	体育あそび(サーキット) 英語で遊ぼう	体育あそび(サーキット)/七夕制作
	23	木	お誕生会/課外英語教室 成長測定①	誕生会/王子南公園	誕生会/王子南公園	誕生会/王子南公園
	24	金	成長測定②	コーナーゾーン	コーナーゾーン	コーナーゾーン
	27	月		水あそび/色水あそび	制作(七夕飾り)	水あそび(王子南公園)
28	火		動物園プロジェクト	動物園プロジェクト	動物園プロジェクト	
29	水		体育あそび(サーキット)/七夕製作	体育あそび(サーキット)/英語で遊ぼう	体育あそび(サーキット)/七夕製作	
30	木		水あそび	制作(七夕飾り)	水あそび(王子南公園)	

※活動内容は、天候や都合により変更になる場合があります。

にじぐみ

3歳

新年度が始まりあっという間に1か月が経ち、子ども達が新しい生活や環境に慣れて笑顔がたくさん見られるようになりました。朝のコーナーゾーン遊びでは好きな遊びを見つけて集中して遊んだり、好きな友達と一緒に遊んだりして楽しんでいます。少し難しいパズルや玩具はそら・つばさ組のお兄さんお姉さんが「一緒にする？」と手伝ってくれ、とっても嬉しそうです。サークルタイムではパンダ、ウサギ、コアラに分かれませんが、どこに集まれば良いか分からず戸惑う子どもがいました。その時も同じグループのそら・つばさ組の友達が「こっちだよ！」と教えてくれ、にじ組の子ども達は安心したような顔をしていて、見守っている保育者はほっこりしています。しかし、お兄さんお姉さんに手伝ってもらってばかりではなく、部屋や戸外でのルールを守ろうとしたり、脱いだ服は丁寧に畳もうとしたり、苦手な野菜も食べようとして自分で頑張る姿もたくさん見られます。その時はたくさん褒めたり一緒に喜んだりしています！

過ごしやすい季節になり、子どもたちは思いきり戸外あそびを楽しんでいます。にじ組の女の子たちはブランコが大好きで、王子南公園に行くとブランコに一目散。「せんせいおして～！」「きゃ～！」とブランコを楽しんでいます。ブランコは2つしかないので取り合いになったり「かわってくれない、、、」と泣き出すこともあります。そんな時は、男の子が泣いている子どもに気付いて「どうしたの？」と頭をなでたり、保育者と一緒にゆっくり10秒数えたりし順番に遊んでいます。新しい三輪車は男の子も女の子もみんな大好きで友達と一緒に漕ぎ「お花きれいだね～」「次はどこに行く？」とのんびりツーリングをしているようでした。体調管理に気を付けながら5月、6月も楽しんで過ごしていきたいです。

にじ組担任 伊藤 結

2期のあそびとねらい

<マイニチリズム>

リズムや音に合わせて楽しく手をたたきリズムに親しみます。

<歌>

「ぼかぼかてくてく」「たなばたさま」「かたつむり」「かえるのうた」

<楽器遊び>

楽器の持ち方や使い方を知り、友達や保育者と一緒に鳴らして音色を楽しみます。

<絵画・造形>

絵の具やクレパス、ハサミの使い方を知り、自由に描くこと切ることを楽しみます。
色の三原色を使って絵の具遊び、指スタンプを楽しみます。

<感触あそび>

小麦粉粘土、片栗粉を使って素材の感触を楽しみます。

<食育>

そら豆の皮むきをしたり、食後のフルーツのカットショーを見て食材やクッキングに興味を持てるようにします。

<植栽>

きゅうりとトマトを植え、水やりをしたり成長を観察したりします。

<水あそび・泥あそび>

水や泥に親しみを持ち感触を味わいます。
色水あそびをして様々な色を作ったり、凍らせてごっこ遊びを楽しみます。

<体育あそび>

サーキット…くまさん歩きででんぐり返りをします。
チアダンス…ポンポンを持って指導者と同じ動きを楽しみます。

<コーナーゾーン活動>

好きなあそびを見つけて友達と関わりながら、ルールを守って楽しく遊びます。

<園外保育>

王子南公園、宮本公園に行きます。宮本公園にはそら組・つばさ組の友達と一緒に行き、交通ルールを守り、公共の場でのマナーを知ります。



そらくみ

4 歳

そら組の子ども達は、年下の友達が入ってきた当初は、年下の子にどう接したらいいか迷ったり、環境が変わったことでお母さんやお父さんを見送る時に涙する子どもがいました。最近では、年下の友達に優しく話しかけたり、関わったりするそら組の姿が見られます。また、年下の友達が困っている様子を見つけると、保育者より先に駆け付け、優しい声で「大丈夫？ママにあいたいの？」と相手の気持ちを考えて代弁している場面がありました。その声掛けによって年下の友達が安心し、気持ちを切り替えてあそびに入ることができていました。年下の友達ができただけでなく相手の気持ちを思いやって、話しかけることができるそら組の成長に驚きました。

また、コーナーゾーンでは年下の友達と一緒に遊んでいる姿も見られます。その中で、一緒に塗り絵をして遊んだり、パズルが得意な子は、にじ組の子がしているパズルを手伝ってあげたりする姿がありました。しかし、時にはにじ組の子達が待っていることは意に介さず、保育者の膝の上にちょこんと座って保育者に甘えたり、「抱っこしてー」と保育者に可愛くお願いする姿も多くみられます。改めてそら組になってまだ 1 か月なんだなあと思うと同時に、私としては園で頑張りすぎず、昨年同様に自分を出して過ごせているのだろうと思い嬉しく感じています。

2期からは、クラス活動が増えていきます。サークルタイムなどを通して、保育者と会話のリレーをしていき、そこから子ども同士で話し合うことができる機会を積極的に作っていかうと思います。子ども達の発見や不思議に感じたこと「なんで？」「どうして？」を大切に、活動にも繋げていきたいと思っています。

そら組担任 鈴木 さやか

2期のおそびとねらい

<マイニチリズム>

曲に合わせて音符を意識しながら手拍子をします。また、グループ毎に、友達の前で披露したり、友達のリズムを聞いたりして「見る」「見られる」経験をします。

<うた>

「あめふりくまのこ」「かえるのうた」

<楽器あそび>

マイニチリズムで経験しているリズムをカスタネットやタンバリン、その他の楽器を使って鳴らします。友達と一緒に曲に合わせて楽器を鳴らすことを楽しみます。

<絵画・造形>

自分ののりやハサミを使って梅雨の季節ならではのあじさいやレインコートなどを制作します。また、水あそびで使うおもちゃを制作し作ったものであそぶことを楽しみます。

<感触あそび>

泥あそび・水あそびを通して季節を感じ、砂・土（サラサラ・ザラザラ）、泥（ドロドロ）などの感触を楽しみます。また、その違いに気づいて試したり工夫したりしながら遊びます。

<クッキング>

春野菜を使ってスープを作ります。その際に使用する包丁やピーラーの正しい使い方を知り、安全に気を付けながらクッキングをします。旬の食材についても知ります。

<いくちゃんと英語で遊ぼう>

Topic1 Animals … 動物の名前や鳴き声を学びます。

フレーズ：I like _____. / I hear _____. / _____ say _____.

歌
♪ Old MacDonald Had A Farm (Super Simple Songs)
♪ Walking In The Jungle (Super Simple Songs)
♪ Five Little Ducks (The Wiggles)

Topic2 Weather … 天気の名前や聞き方を学びます。

フレーズ：How is the weather? / It's _____.

歌
♪ How is the Weather? (Super Simple Songs)
♪ Rain Rain Go Away (Super Simple Songs)
♪ Sing A Rainbow (Kid's Music Shop1)

<体育あそび>

サーキット… マットで前回りをし、最後にかっこよくポーズをします。

チアダンス… 音楽に合わせて友達と動きを合わせることを楽しみます。

<園外保育>

王子南公園、宮本公園、福住公園、王子動物園に行きます。暖かくなり花や生き物もたくさん出てきます。虫を捕まえたり、花を摘んだりして初夏を感じながら戸外で遊びます。また、雨の日にも散歩に出かけ水たまりを歩いてみたり、雨の音を聞いたりして雨の日にはかできない経験をします。



つばさぐみ

5歳

つばさ組になって1ヶ月がたちました。異年齢のグループで過ごし、一番年上のお兄さんお姉さんとして、年下のお友達のお世話をしてくれています。年下の友達に対して「Aちゃん、可愛い」「全然言うこと聞いてくれなくて大変」などいろいろな声が聞こえます。「無理矢理連れて行ったらだめだけど、全然来てくれない…」と悩んだり、「遊びたいけど小さい子が困っている」と自分を優先するか、年下の子を優先するかとのあいだで葛藤していたりと様々な経験をしています。コーナーゾーンの中でも、「Bくんがマーク貼っていないよ」と気づき教えてくれたり、「ゲームのやり方教えてあげる」と一緒に遊んでくれたりと、お兄さんお姉さんを越えて保育士になっている子もいます(笑)。また、異年齢だけでなく、「つばさ組になったらトイレでうんちする」や「わがままを言わない」と子ども達が自分で目標を立てたり、サーキットで難しいところがあっても挑戦する姿がありました。他にも、ラキューの使い方などのルールを子ども達で話し合ったり、王子南公園での危ない遊び方を振り返り、それを分かりやすく他の子ども達に伝えたりと、だいなで一番上のクラスだという自覚を自ら持って課題を設ける姿に成長を感じ、私自身、感動しました。話し合いが上手になってきて、喧嘩が起きたときも自分たちで解決できるようになってきています。これからもサークルタイムの中でたくさん話をする機会を設けたり、保育者ができるだけ入らずにトラブルを解決したりと自分の気持ちや感情を言葉にして伝えられるように関わって行きたいと思います。

つばさ組担任 伊藤 絵未里

2期のおそびとねらい

<マイニチリズム>

歌(曲)に合わせて音符を意識して手拍子やカスタネットで表現します。また、ことばのリズムを見つけ、みんなの前で発表したり、共有したりして楽しみます。

<歌>

「あめふりくまのこ」「かえるのうた」歌のリズムを変えて歌ったり、ミニキーボードで弾くことを意識して音階で歌ったりします。

<ミニキーボード>

「ぶどうのぱん」を弾きます。また、挑戦したい子どもは、「ネコふんじゃった」や「かえるのうた」などにもふれていきます。

<絵画・造形>

雨、雫、雲、湿度（ジメジメ）など、梅雨ならではの物を絵の具やシャボン玉、実際に雨を使って表現していきます。また、水あそびで使えるおもちゃを、ペットボトルや発泡スチロールなどの素材を使用して自分で作ります。

<感触あそび>

水あそびを通して科学に触れます。水に浮く物・浮かない物や、温かい・冷たい（湯・氷）などの温度を子ども達自身で発見できるように促していきます。また、ウォータービーズを使って、感触あそび、色分けゲーム、宝探しゲーム、凍らせてハンマーで砕いたりと様々な遊びに展開していきます。

<植栽>

ミニトマト、オクラ、なす、ピーマン、カボチャ、ズッキーニなどの夏野菜の中から何を植えるか決めます。グループに分かれ、「話し合い」「植える」「水やりをする」「収穫」「食べる」まで繋がりのある活動を経験していきます。また、成長過程をグループ別で発表したり、絵で描いて記録したりします。

<いくちゃんと英語で遊ぼう>

Topic1 Animals … 動物の名前や鳴き声を学びます。

フレーズ：I like _____. / I hear _____. / _____ say _____.

歌 ♪ Old MacDonald Had A Farm (Super Simple Songs)
 ♪ Walking In The Jungle (Super Simple Songs)
 ♪ Five Little Ducks (The Wiggles)

Topic2 Weather … 天気の名前や聞き方を学びます。

フレーズ：How is the weather? / It's _____.

歌 ♪ How is the Weather? (Super Simple Songs)
 ♪ Rain Rain Go Away (Super Simple Songs)
 ♪ Sing A Rainbow (Kid's Music Shop1)



<誕生会プロジェクト>

司会や出し物を自分達で企画・準備し、子ども達がやりきる誕生会を作り上げます。

<体育あそび>

サーキット…跳び箱を跳び越すための導入を繰り返し行ないます。

チアダンス…リズムに合わせて友だちと動きを合わせることを楽しみます。

<ふれあい遊び>

「キラキラじゃんけん」「あいこでドッカーン」「もうじゅう狩りへいこうよ」

パンダグループ

新しいグループで 1 か月間進めてきた動物園プロジェクト。初めは好きな動物を見に行くだけでしたが、野鳥エリアに着くと繁殖期であったクジャクが羽を広げており「すごい!」「なんで羽広げてるの?」「初めて見た!きれいだね〜」と興味津々の子ども達。「なんで?」と疑問に思ったことは保育者がすぐに答えを言うのではなく、自分達で調べたり時には動物園の飼育員さんに子どもが自分で聞けるようにしています。クジャクの繁殖期のことが看板に書かれているのを 5 歳児の女の子がを見つけ「男の子が女の子にアピールしてるんだって!」「繁殖期って言うんだよ!」と 3 歳児の子ども達にも伝える素敵なやり取りが見られました。

2 回目からは動物の“ウンチ”に注目して動物園に行きました。ふれあい広場に行くとカピバラが最初に目に入り「ウンチあるかな〜」と探してみましたが「落ちてないね」「ウンチしないのかな」と子ども達。しかし、「見て!羊さんが髪の毛切ってる!」と羊の毛がカットされる貴重なシーンを見ることができ、子どもたちは羊に釘付けでした。ねらいとはずれていましたが普段見ることができないものが見れて、子ども達も私自身もよい経験になりました。その後はウンチに話が戻り様々な動物のウンチを見て、何に似ているかを考える子どももいましたが 3 歳児の子ども達は好きなように動物を見たり、ふれあい広場にあるパズルを楽しんだり友達とお茶を飲んだりと話が脱線することもありました。まずは“楽しむ”と言うことが大切なので話が脱線したりねらいがずれていてもよいと私は考えています。子ども達の小さな気づきや疑問を大切に、“子ども同士”や“子どもと保育者”の対話を大切にしながら動物園プロジェクトを進めていきたいと思っています。お家でお子さんと動物の話をしていて「おもしろい!」と思ったことや新しい発見があれば是非、私にも教えてください! よろしくお願ひします!

普段の朝のサークルタイムでは歌をうたったり手遊びをしたり、朝ご飯に何を食べてきたかをインタビューしたりしています。4 月当初、にじ組の子どもたちは保育者の様子を伺いながら水道の水を出してみたり部屋を走る姿がありました。しかし、1~2 週間経つとそら・つばさ組がカッコよく座っている姿やきれいな声で歌っている姿を見て真似たり、戸外へ行くときは必ず手を繋いでもらい嬉しそうにしています。中には衣服の着脱を手伝ってあげようとしたつばさ組の子どもがにじ組の子どもに「1 人でできる!」と言われ少し寂しそうにしていたり、困っている姿もあります。そんな姿も受け止めながらパンダグループみんなで成長し、色々なことを楽しんでいけたらと思います。

2 期からはクラス活動が中心になりますが、朝のサークルタイムや食事の時間は、今まで通りグループで過ごします。クラス活動に入る前に 1 度グループで集まり、子ども一人ひとりと対話をして安心できる場所にしたいです。

パンダグループ担当 伊藤 結

うさぎグループ

入園してきたにじ組の子ども達は、朝、登園するとお父さんやお母さんと別れた寂しさから泣いてしまったり、新しい環境に不安や緊張を感じているようでしたが、つばさ組やそら組のお友だちが優しく涙を拭いてあげたり、手をつないでサークルタイムに連れてきてくれたりと寄り添ってくれる姿が見られ、じーんと心温まるものがありました。そうして少しずつ園生活に慣れてくると、笑顔で過ごせるようになり、「あのね、きのうね…」などと話してくれることも増えてきました。

4月初めは、まずは新しい園生活に慣れ、安全に過ごせることを大事にしました。まずは、園内探索。うさぎマークのワッペンを胸に貼り、バスツアーごっこをしながら園内の部屋を見て回りました。保育者が旗を持って「こちらは、〇〇の部屋でございます。」とガイドしながら案内すると、子ども達も楽しそうについてきていました。何をやる部屋なのか、誰がいる所なのか、またルール等を知らせていきました。にじ組の子ども達には初めてのことで、そら・つばさ組の子ども達には再確認の意味で「ここでは、どうするんだった?」「どうして?」と尋ねると「はしたら あぶないから あるく」「せんせいに 2かいに いってきますっていう」などとしっかり返ってきて、これから年下の子ども達のお手本になってくれそうです。園内だけでなく、隣の王子南公園でも遊んで良い場所、出てはいけない場所などを確認していきましたが、今後も繰り返し伝えていき、子ども達自身がルールを守りながら安全に遊べるようにしていきたいと思えます。

にじ組の子ども達が園生活に少し慣れてきた頃、動物園プロジェクトも始まりました。初回は、プロジェクトどころか、動物園まで歩いて行って、帰ってこられるのだろうかかと心配したのですが、保育者の心配に反して、子ども達はしっかりと歩くことができ、動物をゆっくりと見ることができました。にじ組の子ども達も「たのしかったね、またいこうね」とニコニコでした。毎回、象のおもしろい姿に出会っているので、続けて見にいけたらと思っています。

出かける前にも子ども達と何を見に行くか話し合いますが、園に帰ってきてからも振り返りをする時間を設け、何を見たかや、おもしろい事や疑問に感じた事はあるかなど子ども達と話し合うことを大事にしています。子ども達の言葉に耳を傾け、感じたことに共感しながらテーマを見つけて進めていけたらと思っています。さて、これから子ども達の興味はどこに向いていくのでしょうか。楽しみです。動物園プロジェクトの様子は、毎回ドキュメンテーションにして階段に掲示していますので、詳しくはそちらをご覧ください。そして、ご家庭でもお子さんといろんな話をして動物園プロジェクトを一緒に楽しんでいただけたらと思います。

うさぎグループ担当 山尾 幾久子

コアラグループ

1期では朝のサークルタイムを中心に、春のうたを歌ったりふれあいあそびやリトミックをしたりして過ごしました。“お手のもの！”と言わんばかりのそら組・つばさ組は慣れたリズムに身体を動かしたり、歌をうたったりしました。それを見ていた同じグループのにじ組も“なんだか楽しそうだな…ちょっとやってみようかな…”といった感じで真似をして身体を動かす姿があり、本来のグループ活動（異年齢での活動）での意義やねらいをそっくりそのまま感じました。私は“春”という歌が大好きで、年齢に関わらず子ども達と毎年ずっと歌い続けている曲なのですが、実はこの歌、とても古く歴史のある歌で職員でも知らない人がいたりするほど。もう何十年も前に作曲されたのですが、とても素敵ないい歌で、毎年この曲を歌うと心も身体もほっこりする自分がいます。はじめの頃は子どもたちに歌うと「なにそのうた～（笑）」「聞いたことない～」など言われたものです。でも毎日毎日歌い続けていくと、不思議なもので子ども達自身がこの歌の虜になっています。朝のサークルタイムで子どもたちから「今日は『春』歌う？」と聞かれたので「歌うよ！」と言うと「やった～！」と大喜びするのです。不思議ですよ。少なからず、私の思いが子どもたちに伝わった瞬間だと感じました。また、4月の誕生会でも各グループで歌をうたうのですが「コアラグループは何の歌をうたいますか？」と誕生会プロジェクトメンバー（つばさ組の子どもたち）が質問してきました。即答で「春！」と答えたコアラグループの子ども達。何だか私も嬉しくなり、心が躍りました。誕生会本番でも見事に歌い上げました。

動物園プロジェクトではあるエピソードを話してくれた子どもがいました。「朝来る（登園する）時に動物園の横を通ると、トラックで運ばれる動物さんがいたの。」「でも外からも見えなくて、動物園の人たちもそのトラックにバイバイしてたの。」と他の子ども達に話をしてくれました。「その動物さん気になるよね？飼育員さんに聞きに行く？」ということになりました。道中でも「ゴリラじゃないかな？」など子ども達同士でも推測したりしていました。園内で早速飼育員さんを見つけ、今日の疑問を子ども達自らぶつけました。「聞いてくれてありがとう。実はキリンのひまわりちゃんが違う動物園にお引越するところだったんだよ。」と丁寧に教えてくれました。「そうだったのか！元気でね！」と子ども達。なんと微笑ましいやりとりでした。しかしその後、何ともショックなお知らせを耳にします。「移送中にキリンのひまわりちゃんが亡くなった。」とのこと。子ども達にも話をし、「何かできることないかな？」と保育者が話すと、「お手紙は？」と返ってきました。コアラグループとして以前、亡くなったチンパンジーのユキちゃんへ宛てた手紙のことを覚えていました。早速、お手紙（絵や文字）を書いて、今度みんなで動物園に持って行く予定です。こうして新年度いきなり「命」について考えたコアラグループ。この先の展開をぜひ楽しみに。園内に掲示しているドキュメンテーションも是非ご覧ください。

コアラグループ担当 松村 崇司

お食事だより

◎旬の食材

そらまめ

ビタミンB群である葉酸は、細胞の生産や再生を助ける働きがあり、体の発達や成長にとっても重要な栄養素です。そんなそら豆は、鮮度が落ちやすい野菜で「美味しい期間は3日だけ」と言われています。選ぶ際は、さやが濃い緑色でしっかりとつやのあるもの、豆の形が外側から見てくっきりしているものを選ぶと良いです。



にんにく

にんにくには、臭いのもとでもあるアリシンという成分が含まれています。この成分がビタミンB1と結合することで、アリチアミンという成分に変わり、疲労回復の効果が期待できるとされています。ビタミンB1が豊富な豚肉（とくに豚ヒレ肉）やごまなどと一緒に調理すると効果が期待できます。



しらす

しらすにはカルシウムが豊富で、骨や歯を作る大切な栄養素です。子どもの時から積極的に摂取しておきたい栄養素のひとつです。しらすに含まれるカルシウムと、梅干しに含まれるビタミンD、クエン酸は相性がよく、カルシウムの吸収率が1.5倍増加するので、おすすめです。



いちご

ビタミンCが豊富で、風邪予防、肌再生など様々な効果があるので、風邪気味の際や、日焼けした時におすすめのフルーツです。また、キシリトールも含まれており、虫歯の原因菌の増殖を抑えてくれる効果があります。



◎食中毒について

5月に入り、気温・湿度が上昇してきました。そんな時、注意しなければならないのが「食中毒」です。だいな幼稚園では、食材の納品、調理、保管には細心の注意を払っています。「食中毒」は家庭でも起こりうるので、食中毒についていくつか紹介します。

【アニサキス】

アニサキスとは寄生虫の一種で、アニサキスが寄生している生鮮魚介類を食べることで、食中毒を引き起こします。

＜症状＞ 食後数時間～10時間でみぞおちの激しい腹痛、吐き気、嘔吐を起こします。

＜予防＞ 十分に冷凍（-20℃・24時間以上）

加熱調理（中心温度60℃で1分以上）

【カンピロバクター】

カンピロバクターとは、鶏、豚、牛の腸内に生息している細菌です。お刺身やバーベキューで生焼けの肉を摂取することで感染することが多いです。犬や猫などのペットの糞便にも生息している可能性があるため注意が必要です。

＜症状＞ 下痢、腹痛、発熱、頭痛、吐き気、嘔吐です。症状は3～6日間続きます。

<予防> 細菌は高温多湿な環境を好むので、家に持ち帰るまで氷を使用し、帰宅後はすぐに冷蔵庫で保管しましょう。食品は十分を加熱し、細菌を死滅させましょう（中心温度75℃で1分以上）。

【ウェルシュ菌】

ウェルシュ菌はカレーやスープなど、煮込み料理に生息する場合があります。酸素がないところで増殖し、100℃、6時間の加熱にも耐える菌です。

<症状> 水溶性の下痢、軽い腹痛

<予防> 酸素が無いところで増殖しやすいので、調理中はしっかりと混ぜ、鍋底にも空気を送りながら調理しましょう。調理後はなるべく早めに食べきり、室温で放置せずに残りを保存する場合は速やかに粗熱を取って、冷蔵庫に保存しましょう。

◎お台所からのメッセージ

新年度に入り、新入園児の子ども達もだいな幼稚園に慣れてきたように感じます。子ども達が私に「今日のごはんは何？」と声をかけてくれるので、お台所の先生と分かってくれているんだと、とても嬉しい気持ちになりました。今年度から1階玄関に「明日の野菜」を展示しており、子ども達は「これめっちゃ重い！」や「これ好きなお野菜だ！」などと話をしている姿が見られます。「今日もお野菜見れてよかったね！」と2階へ上がっていきます。降園時に親子の会話にさせていただけると嬉しいです。

栄養士 二宮 鈴菜

子ども達は、昼食を異年齢グループで食べています。ある日、苦手な野菜に苦戦しているにじ組の男の子がいたので、私は「お手伝いしようか？」と声をかけました。すると「僕、自分で食べられるから大丈夫」との返答だったのでしばらく様子を見ていましたが、その男の子はなかなか食べられない様子。私がもう1度声をかけようとした時、食事を終えたつばさ組の子どもが「このお野菜が苦手なの？お手伝いしてあげようか？」と声をかけてくれました。にじ組の男の子は苦戦していた野菜もぱくっと食べていました。「おいしい？」と聞かれたにじ組の男の子も「うん！」と言い、向き合って笑い合う2人に私も嬉しい気持ちになりました。そんな姿がこれからもたくさん見られるといいなと思いました。

栄養士 山本 菜那

私はコアラグループのお食事を担当することが多いのですが、ビュッフェが始まると「お腹空いた」「早く食べたい！」という子ども達の声が聞こえてきます。あるそら組の男の子はいつもビュッフェの順番が回ってくると「大盛りいっちょう！」とリクエストをくれるので「たくさん食べられるね」と声をかけると「だいなのご飯めっちゃ美味しいんだもん！」との返答。これからも子ども達に喜んでたくさん食べてもらえるように頑張りたいと思いました。

調理師 荒巻 美帆